

和の音色を愛し、奏でる



伊吹山中学校邦楽体験(12月8日開催)

地域活動とコラボ

表紙写真は、伊吹山中学校の邦楽教室の様子です。この教室は、伝統音楽を次世代に伝えることを目的に開催されています。

長浜箏曲連盟の皆さんによる講義は、日本の音楽でよく使われる三味線や尺八、そして雅楽で使われる伝統楽器を用いて、実際の演奏や音声教材を交えながら行われました。講義の後、お琴体験が始まりました。

生徒の皆さんは、教室に入れた時からお琴に興味津々で、最後に行われた生徒全員での演奏は、聞き応えがあるものでした。

指導者や楽器の確保など、実施には苦労があるとのことでしたが、生徒の皆さんは、邦楽の音色や演奏方法に触れ、日本の伝統文化に新鮮さと懐かしさを感じられたようでした。

意見書

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書を国に提出
冤罪被害者救済のため、全面的証拠開示の
制度化、再審開始決定への検察官による
不服申し立てを禁止することなどを求める

(関連8ページ)

可決

正副議長選挙の結果ご報告

議長に 矢野 邦昭
副議長に 細野 正行

(年頭のごあいさつは、2ページへ)



補正予算

物価高騰対策給付事業

5年度住民税非課税世帯

1世帯当たり7万円

総額約2億2千万円

まちのリアル〔現実〕をあなたと共有
人口変動カウンター

74号発行月
10月37,455人

75号発行月
1月37,380人

3か月
間で

75

↓
人減少

このたびの「令和6年能登半島地震」により亡くなられた皆さまの御霊の安らかならんことを切にお祈りいたしますと共に、地震により被災された皆さまに対して心よりお見舞い申し上げます。

年頭のごあいさつ

議長



矢野 邦昭

新年あけましておめでとございます。

さて、昨年一年間の市議会を振り返りますと、最多の一般質問は学校問題で、不登校・フリースクールなど14回、2位が医療・高齢者問題で11回、3位がA-（人工知能）・DX（デジタルトランスフォーメーション）問題と道路問題が各8回で、5位が環境問題で伊吹山・太陽光発電など7回、本市の身近で重要な課題を各議員が取り上げた結果かと思えます。

議会運営では、昨年12月から、長らく形骸化が指摘されてきた委員会を、執行部への質問だけで終わらず、委員間で討議し議論を深めることにしました。また、一般質問の残時間を会派内で調整可能とした結果、40分、60分の質問者が現れ、議論・討論の活性化に一石を投じていただきました。この2点の改善は、3年度から、市議会の議論・討論を活性化しようと進めてきた議会改革の一端です。

令和6年の議論の中心は、米原駅東口駅前開発問題から、生活支援、子どもの施策等、市のだざまざまな事業や課題が考えられます。議員一同誠意をもって取り組み、執行機関と互いに研鑽し合い、より暮らしやすいまちづくりに努めてまいります。

市民の皆さまには、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

副議長



細野 正行

新年あけましておめでとございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望あふれる新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、昨年は市議会に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、以前のように活動できるようにはなりました。しかし、ウクライナやパレスチナにおける戦争はやむ気配がなく、国内においては長引く物価高騰に苦しんだ一年となりました。そういった中でも、市議会としては、市から出される議案等を適切に精査・対応してまいりました。また、米原駅東口駅前開発も新たなステージに向かい、駅前のにぎわい創出にむけて進み始めました。

本年の干支は辰ですが、漢字の上に曲を付けると農業の「農」になり、雨を付けると地震の「震」となります。どちらも大地が大きなキーワードになっています。変動の時だからこそ、大地にしっかりと足を付け、市民の皆さまの声をお聴きし、議会としての責任をはたしてまいります。また、議長の補佐役として、議会改革を推進し、さらなる議会活動の透明化や発信に力注いでまいります。皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶いたします。

11月 臨時会 ハイライト

令和5年第3回臨時会の会期は11月9日の1日間と決定

市監査委員に中川 松雄 議員を選任する提案を全員賛成で

同意

この臨時会で各委員会等の委員構成が変更されました。

議会運営委員会

委員長

磯谷 晃

副委員長

藤田 正雄

委員

山口 久志

細野 正行

中川 雅史

中川 松雄

吉田 周一郎

米原駅東口駅前 開発特別委員会

委員長

鏑田 明

副委員長

山口 久志

委員

磯谷 晃

藤田 正雄

細野 正行

中川 松雄

山本 克巳

吉田 周一郎

総務産業建設 常任委員会

委員長

吉田 周一郎

副委員長

藤田 正雄

委員

山口 久志

鹿取 和幸

矢野 邦昭

今中 力松

中川 雅史

議会だより 編集委員会

委員長

山口 久志

副委員長

振角 大祐

委員

鹿取 和幸

細野 正行

山脇 正孝

吉田 周一郎

民生教育 常任委員会

委員長

山本 克巳

副委員長

振角 大祐

委員

磯谷 晃

細野 正行

山脇 正孝

堀江 松雄

鏑田 明

議会デジタル化 広聴推進委員会

委員長

中川 雅史

副委員長

山口 久志

委員

鹿取 和幸

藤田 正雄

細野 正行

堀江 一三

予算・決算常任委員会

委員長

磯谷 晃

副委員長

中川 雅史

委員

振角 大祐

山口 久志

鹿取 和幸

藤田 正雄

山脇 正孝

今中 力松

湖北広域行政 事務センター議会

委員長

矢野 邦昭

委員

山脇 正孝

山本 克巳

鏑田 明

長浜水道 企業団議会

中川 雅史

湖北地域消防 組合議会

委員長

山口 久志

委員

磯谷 晃

矢野 邦昭

吉田 周一郎

委員は議席順

第3回臨時会 議決結果一覧 ●全員賛成で原案可決とした案件

番号	件名	付託先
発議第 7 号 同意第 27 号	米原市議会委員会条例の一部を改正する条例について 米原市監査委員の選任について	
議案第 66 号 議案第 67 号	令和 5 年度米原市一般会計補正予算（第 6 号） 令和 5 年度米原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	予算 常任委員会

でわかる! ハイライト

“我がまちのために！”私は執行部に
ここが聞きたい 一般質問



⑧
～
⑪



①
～
⑦

一般質問
録画配信

① 不登校問題とフリースクール

堀江 一三

◀ P10

② 通学路の安全対策
帯状疱疹ワクチン助成

細野 正行

◀ P11

③ 国道365号歩道整備の進捗
市道大清水弥高春照線未整備区間

今中 力松

◀ P12

④ 水道水の軟水化の経費負担
市立認定こども園の新保育体制

山本 克巳

◀ P13

⑤ ステップ・フォワード・プログラム
市開業医誘致等地域医療振興事業

山口 久志

◀ P14

⑥ 三島池・オナゴ溜の自然保護・保全
伊吹山の保全

鹿取 和幸

◀ P15

⑦ 介護保険第9期事業計画
就学援助に用いる認定基準

山脇 正孝

◀ P16

⑧ マイナンバーカードを健康保険証
とすることについての市の対応

藤田 正雄

◀ P17

⑨ 近江鉄道再生協議会に対する疑問

礪谷 晃

◀ P18

⑩ 授業以外での
児童・生徒への学力補充

振角 大祐

◀ P19

⑪ 空き家等の問題・課題等

鰐田 明

◀ P20

議論活発化のため、一般質問の持ち時間について、事前に会派内で調整し、融通し合えることに
改めました(従来、一律で30分でした)。

令和5年第4回定例会の 会期 は11月30日から12月22日までの23日間

精神障害者保健福祉手帳

1級および2級の所持者を

※2級は
他条件あり

福祉医療費助成制度の対象に加える議案を賛成多数で

可決

◀ P9

国に対し、刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書の提出を求める請願

法務大臣等へ意見書を提出することについて賛成多数で

可決

◀ P8

忙しいあなたへ

ほぼ5分 12月定例会

出産一時金の増額、産前産後の国保税減額措置のため

▶ P9

国民健康保険税条例の一部を改正する議案を総員賛成で

可決

人事院勧告を踏まえ、市職員の給与を

若年層重点で、月額平均1.1%上げる議案を総員賛成で

可決

指定管理者の指定

可決

人権総合センター・・・(特非)ふれあいネット米原

期間5年

米原地域福祉センター・・・(福)米原市社会福祉協議会

期間5年

北部デイサービスセンター・・・(福)米原市社会福祉協議会

期間3年

▶ P9

¥ 議会が 可決 した主な補正予算

◎5年度の住民税非課税世帯に7万円を給付するため約2億2千万円

◎ふるさと応援寄付金増加に伴う、必要経費増額 約3900万円 ▶ P8

◎消防施設再編に伴う施設整備の経費増額 約3億2千万円 ▶ P8

予算・決算常任委員会 委員間討議

柏原駅周辺地域活性化事業 繰越明許、J-R東海との協議状況や図面等による説明が不十分だ。

地域子育て支援センター事業 認定こども園含め、正規・会計年度任用職員の配置状況の図式化を求める。

米原地域福祉センターゆめホール管理事業 指定管理者について、公募・非公募の理由を明確にすべき。

ふるさと納税事業 体験型返礼品などの活用や、寄付額の減少への対応が求められる。

可決

1. 討論の対象議案

○議案第77号 米原市福祉医療費助成条例等の 一部を改正する条例について

令和6年4月1日から滋賀県の福祉医療費助成制度が拡充されることに伴い、米原市の同制度において、重度障がい者(児)に精神障害者保健福祉手帳1級または2級※の所持者を新たに助成対象者に加える。また、子どもの用語の定義など、規定の整理を行う。

※2級所持者は、身体障害者手帳3級、療育手帳B1のいずれかの所持が条件

2. 委員会の採決

民生教育常任委員会で議案第77号を原案のとおり可決することについて

賛成5人 × 反対2人 賛成多数で可決

3. 本会議の討論

議案第77号に対する討論

反対

磯谷 晃 議員

滋賀県市長会が県へ要望してきた内容と異なる。

就学前に対する支援を県と市町で協力しながら進めているが、要望では、義務教育終了時までの段階的支援拡大を望まれていた。

市の制度を10月1日施行とすると、半年間の切れ目が生じ、さらに現在の高校3年生の世代は半年間に限定され、混乱や批判などを招く恐れがある。故に現在の高校1年生から支援すれば、3年後には高校3年生までの完全無償化となることを指摘していた。

また、県が高校生世代の助成措置を講じようとする中、再検討を加えることなく、この10月1日から先行して拡充したことは、医療機関をはじめ、助成対象者世帯などに、二度にわたり混乱を招く結果となる。

4. 本会議の採決

議案第77号を原案のとおり可決することについて

賛成11人 × 反対3人 賛成多数で可決



賛成者と反対者の一覧はP7

精神障害者保健福祉手帳1級等の所持者を
福祉医療費助成制度の対象に加える議案を賛成多数で



第4回定例会 議決結果一覧

●全員賛成で原案可決・採択とした案件

議案審査を付託された委員会
【総産建】総務産業建設常任委員会
【民生教】民生教育常任委員会 **【予算決算】**予算・決算常任委員会

番号	件名	付託先
議案第68号 令和5年度米原市一般会計補正予算（第7号）	予算決算	
議案第69号 令和5年度米原市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		
議案第70号 令和5年度米原市水道事業会計補正予算（第2号）		
議案第71号 令和5年度米原市下水道事業会計補正予算（第2号）		
議案第72号 米原市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	総産建	
議案第73号 米原市職員の給与に関する条例および米原市一般職の任期付職員の採用および給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第74号 米原市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第75号 米原市特別会計条例の一部を改正する条例について		
議案第76号 米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	民生教	
議案第78号 米原市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
議案第79号 米原市B & G 海洋センター条例の一部を改正する条例について		
議案第80号 公の施設における指定管理者の指定について（米原市人権総合センター ソーシャル・キャピタルプラザ）	総産建	
議案第82号 公の施設における指定管理者の指定について（米原市北部デイサービスセンター）	民生教	
議案第83号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について（伊吹地域北部）	総産建	
議案第84号 令和5年度米原市一般会計補正予算（第8号）	予算決算	
議案第85号 米原市手数料条例の一部を改正する条例について		

●賛否等が分かれた案件 ※賛成者は「○」反対者は「×」 議長は採決に加わりません。

議 案	付託先	討 論	結 果	天翔クラブ						政策研究会 マイバラ				日本共産党 米原市議団		無会派	
				山 口	磯 谷	鹿 取	矢 野	今 中	中 川 松	鏑 田	中 川 雅	堀 江	山 本	吉 田	藤 田	山 脇	振 角
議案第77号 米原市福祉医療 費助成条例等の一部を改正する 条例について	民生教	1	可決	○	×	○	/	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号 公の施設における 指定管理者の指定について (米原市米原地域福祉センター ゆめホール 地域福祉センター)	民生教	0	可決	○	×	○	/	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号 国に対して「再審 法（刑事訴訟法の再審規定）の 改正を求める意見書」の提出を 求める請願	総産建	0	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄 権
意見書第2号 刑事訴訟法の再 審規定（再審法）の改正を求め る意見書案	/	0	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄 権

報告します！

総務産業建設常任委員会

予算・決算常任委員会 総務産業建設分科会

委員長・分科会長 吉田 周一郎

副委員長・副分科会長 藤田 正雄

委員 山口 久志、鹿取 和幸、矢野 邦昭
今中 力松、中川 雅史

議案第68号

5年度一般会計補正予算(第7号)

文書管理システム・ 電子決裁システムに ついて

問 このシステムのメリットは何か。

答 本来の決裁ルートと同時進行で合議先の関係課が同時に確認することができ、今までよりも決裁の時間が短縮され、ペーパーレス化も図れます。令和7年4月から本格運用します。

問 セキュリティー対策は、どのように考えているか。

答 アフセスの制限を行い、どのような操作がされたかを管理し、セキュリティーの外部監査も行います。

消防庁舎の 整備について

問 消防庁舎整備後の跡地利用計画は。

答 長岡地先の米原消防署および朝妻筑摩地先の米原出張所は湖北地域消防組合が建物を解体して、土地は市に返還されます。曲谷地先の伊吹出張所は建物・土地ともに市へ返還されます。令和7年5月に新庁舎に移転し、建物は7年度に解体します。

ふるさと納税の 現状と課題について

問 ふるさと納税の現状は。

答 比較的高額な返礼品に人気があり、1人当たりの平均寄付額は県内他市より高額です。

問 今後の課題は。

答 納税額は順調に伸びていますが、件数が伸びていません。本市の魅力ある返礼品や商品の件数を増やすためには、事業者と連携して取り組むことが重要課題であると認識しています。

また、一例ですが、

①故郷等の
自治体への寄付

②自治体や
地域への支援となる

③お礼に地域の
特産物などが送られてくる

④確定申告し、所得税から還付、
翌年度の住民税から控除
※ワンストップ特例制度を除く。



ふるさと納税の仕組み

伊吹山の問題など、具体的な内容を示しながら寄付を募ることで、件数の拡大を図ります。

問 指定管理料が増額になった理由は何か。

答 消費税率の変更、光熱水費のうち電気料金の高騰、人件費の賃金単価の見直しを行ったことによるものです。

議案第80号

公の施設における指定管理者の指定について(米原市人権総合センターソーシャル・キャピタルプラザ)

問 審査結果と選定委

委員 間 討 議

員会でのように評価されたか。

答 今までの実績等を踏まえて、一定の評価をいただいたと認識しています。

問 人権に対する年間の相談件数は。

答 女性の相談、生活相談、生活困窮等を含めて約200件ありました。

問 今後の大規模な修繕の有無は。

答 照明のLED化、屋根の防水等の工事が必要になります。

請願第2号

国に対して「再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書」の提出を求める請願

冤罪被害者の速やかな救済のためには、憲法の理念に沿って、再審法のあり方を全面的に見直すことが必要であるとの考えが、委員間で一致しました。

討論・採決結果

付託された議案のうち、補正予算を除く議案について採決を行いました。

慎重審査の結果、議案第72号から議案第75号までの条例改正、議案第80号、議案第83号および請願第2号は総員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

報告します！

民生教育常任委員会

予算・決算常任委員会 民生教育分科会

委員長・分科会長 山本 克巳

副委員長・副分科会長 振角 大祐

委員 磯谷 晃、細野 正行、山脇 正孝

中川 松雄、堀江 一三、鰐田 明

指定管理者制度の在り方とは何か

補正予算

◎一般会計

問 ゆめホールの施設修繕費に毎年100万円を計上する根拠は。

答 100万円程度の修繕費で通常は対応可能と考えていますが、大きな修繕が必要な場合は、別に予算計上をお願いします。

問 地域子育て支援センターの職員について、会計年度任用職員を含め配置が難しいのであれば、今後別枠で雇用していくことは考えていないのか。

答 今まで園内の人事は工夫しながら実施しており、さまざまなか所で仕事をする中で、クラス担任を持つたり、支援センターに行ったりする異動によって職員のスキルアップにもつながり、メリットだととらえています。

問 給食食材高騰対策について、なぜ国の特定財源がないのか。

答 国からは経済対策の一環として交付金の交付が示されています。食材費の高騰に対しても使えますが、全体の中で検討します。

問 マイナンバーカードに福祉医療費助成制度の受給券は連携できないのか。このままでDX（デジタルトランスフォーメーション）化は進まないのでは。

答 現在、国はシステム化の方向で、将来的には連携できると考えています。

問 なぜ市独自で高校生世代までの医療費無料化を10月から実施したのか。受給券の変更は混乱を招かないのか。

答 県の補助事業の話が出てきたのが6月で、10月の段階では、確定していませんでした。

条例関係

◎米原市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

問 健康保険からの出産助成金はどれくらい引き上げられたのか。

答 出産育児一時金として一児につき43万円

から50万円に引き上げられました。

問 出産に関する産前・産後の国保税の減免はどうなるのか。

答 産前・産後の減額については、その人の所得割と均等割の年間の12分の4カ月が減額されます。

◎米原市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について

問 精神障害者保健福祉手帳1級または2級の所持者を新たに助成対象者に加えることについて、その内容は。

答 重度障がい者（児）に精神障害者保健福祉手帳1級所持者、あるいは、精神障害者保健福祉手帳2級、身体障害者手帳3級、療育手帳B1のうち、いずれか2種類を所持する者を加える改正です。なお、以前から、身体障害者手帳3級と療育手帳B1の2種類をお持ちの人は、助成対象者

としています。

◎公の施設における指定管理者の指定について（米原市米原地域福祉センター ゆめホール）

問 5年前も非公募で、今回も非公募扱いとした理由は。

答 指定管理者制度の運用に関するガイドラインで、公の施設の目的、性質、規模等が募集に適さないと認められる場合には非公募を可能としています。

社会福祉法人米原市社会福祉協議会は、自治体や各種団体、事業者と連携し、社会福祉活動を支援するとともに、住民や地域の複雑多岐にわたる福祉ニーズに対して相談業務の窓口を担い、市や関係機関とともに福祉課題を把握し、解決につながる活動を行っています。また、当該施設は、地域福祉防災計画の中で、市および米原市

社会福祉協議会は、災害時におけるボランティア活動を支援するため、その拠点となる米原地域福祉センターゆめホールに総合窓口を設置するとともに、平常時よりボランティアに関する情報等を共有するとなっていること

もあり、公の施設の目的・性質・規模等により、募集が適さないと認められるときに該当すると考えました。

討論・採決結果

付託された議案のうち、補正予算をのぞく議案について採決を行いました。

慎重審査の結果、議案第77号および議案第81号については、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。また、その他の議案については、総員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

○不登校問題とフリースクールについて



堀江 一三 議員

フリースクールの 存在意義について

問 NPO法人「日本フリースクール協会」によると、現在500

カ所近くが運営されており、4千人以上の小学生が学んでいる。それ以外でも、ボランティアグループや元教師の皆さんが少人数の子どもたちに勉強を教えている。

このような状況下で改めてフリースクールの意義についての認識を伺う。

また、フリースクールへの参加は、学校への出席として認定されるのか、との過去の中山雅史議員の一般質問に対して、教育成果が上がっていることが評価できれば、出席扱いとすると答弁されていますが、現在までに各学

校長の判断で出席扱いとされた小中学生の人数と日数について伺う。

答 学校に行けない児童生徒の状況に応じて、それぞれの児童生徒の良さや可能性を伸ばせるように、フリースクールにおいて学びの機会を確保することについては、居場所づくりや学びの保障といった観点から、大変意義のある事であると認識しています。

なお、フリースクールに通うことで、校長の判断により出席扱いとされた児童生徒数は、2年度から5年度までの間で、市内小学校で7人、中学校で3人います。小学校で204日、中学校で65日認定されています。

今後、フリースクールに通う児童生徒がいる場合は、積極的に

学校がフリースクールと連携を取り、出席扱いとするなど、児童生徒の頑張りを認め、自信につなげていきたいと考えています。

不登校児童生徒問題を 解消する対策について

問 不登校の小中学生は、文部科学省の調査によれば、4年度で全体の3%強に相当する30万人近くに達したと発表されている。

本来ならすべての子どもたちが、学校という場所で健やかに仲良く勉強して、成長してくれることが望ましいことである。

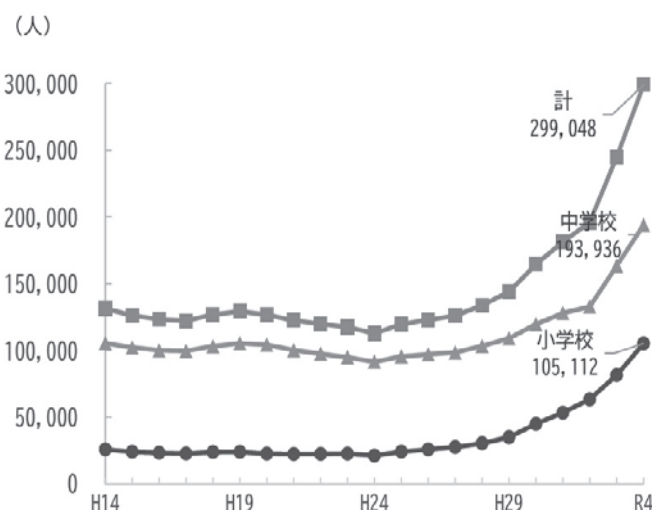
不登校の問題を一刻も早く解消することが求められるが、その対策はどうか。

答 本市では、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー

を、県費で配置される時間数とは別に市費で上乘せし、子どもに對するきめ細かな対応を充実させているところです。

また、学校内の別室での個別対応、本市が設置する教育支援センター「みのり」や「ステップ・フォワード・プログラム」による個別

支援や小集団での生活など、不登校児童生徒がエネルギーを蓄えられる場を設け、対応しているところです。これらの取り組みにより、不登校児童生徒が安心できる居場所を選択し、社会的自立に向けて一歩を踏み出せるよう支援しています。



不登校児童生徒数の推移(出典：4年度文部科学省調査)



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



細野 正行 議員

○通学路の安全対策について

○帯状疱疹ワクチン助成について

通学路における 安全対策

問 通学路の安全対策として、子どもたちが安心して通える通学路整備をどのように実施しているのか、現状と課題対策は。

答 道幅が狭い、歩道が無いなどの課題もあり、全ての通学路が安全であるとは言い切れません。そのため、学校や自治会から通学路に関する改善要望があった場合は、関係部署と連携し、改修等の安全対策を行っています。
問 交通安全プログラム以外の危険箇所は無いのか。

近江グリーンタウンとサンライズ近江をつなぐ橋は幅3.5mほどで車が通行すると歩行者は渡れない。歩道が別途必要ではないか。

答 ご指摘の橋については、歩道の設置は難しく、通行する児童・生徒への注意喚起や、スクールガード等の見守りにより対応しています。

問 8号バイパスを渡る歩道がある。本年度の要望で安全対策のため、防犯カメラの設置を希望されているが、どう対応されたか。

答 地下道は国が管理しており、現在は、緊急ボタンが設置されていますが、地下道の距離が長く外からの見通しがきかないため、通学路交通安全プログラムに要望内容として防犯カメラを設置するよう位置づけられています。今後は、防犯カメラの設置に向けて国との協議を進めていきます。

スクールバスの 運行について

問 幼い子どもが2・5歳の道を一人で歩いて帰っている事例もあると聞く。児童生徒の安心安全な通学路は確保できているのか。早急に対応すべきではないか。

答 市内小中学校の児童生徒の通学方法は、合併前の旧町の実情に合わせ引き継いできましたが、学校の統廃合等実情が変わったことから基本方針を策定しました。



運用しています。緊急の課題は、その都度対応してきましたが、通学の基本方針については改めて検討する時期にきています。
問 スクールバスにおける今後の取り組みは。
答 平成27年に基本方針を定めて以降、少子高齢化の進行や、社会情勢の変化もあり、家庭や地域、その他関係機関の協力を得ながら状況に応じて、路線バスやデマンドタクシーを利用するなど、通学方法の見直しを行ってきました。

スクールバスの運行は、6年度から民間へ委託しますが、委託業者との連携を密にし、状況に応じた柔軟な対応を行っています。

帯状疱疹ワクチン 市の助成を



問 県内市町で帯状疱疹ワクチンの助成が始まっているが、市の考えは。

答 県内市町では、2市が助成を実施しています。また、令和6年1月から1市が実施される予定です。国の定期予防接種に位置づけることについて、評価および検討を行っていることから、本市では助成を行っていません。今後は、国や県に対し、あらゆる機会を通じて要望を続けていきます。



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○国道365号歩道整備の進捗^{しんちよく}と今後の整備計画は
○市道大清水弥高春照線の未整備区間について
○伊吹山麓から3合目までの林道西出大谷線^{しんちよく}
改良工事の進捗状況と今後の見通しは



今中 力松 議員



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

国道365号の
歩道整備

問 伊吹地域への延長の予定は。

答 現在進められている野一色地先から間田地先の商業施設付近までの歩道整備は、7年度に完成予定です。

新たな歩道整備は計画されていません。

問 春照小学校への通学路の歩道は狭く、安全柵はあるものの大型車が頻繁に行き交う状況で非常に危険である。

また、伊吹高校の生徒がホッケーの練習に春照のグラウンドに通っているが、自転車で国道を走っている。

児童・生徒の安全確保のためにも歩道整備が急務と考えるが、市の対応は。

答 高番交差点から杉沢交差点の間の歩道は、



整備された間田地先の歩道は
夜道でも安全に歩けると思われる

幅の広い歩道ではないので、通学路として安全が確保できるよう、安全施設の更新を含む歩道拡幅を県に要望します。

また、春照地先の国道365号では、自転車や歩行者は、道路の路肩や周辺の市道を通行されていますので、安全が確保できる歩道整備を県に引き続き要望していきます。

問 大野木・藤川間の道路の拡幅が安全対策上、不可欠であると繰

り返し訴えてきた。

しかし、今回見直された県の『道路整備アクションプログラム2023』から大野木・藤川間の歩道整備が外されている。今後の見通しは。

答 県は事業化へ向け引き続き検討されています。

市は、路肩拡幅による歩車道分離など実現性のある内容で具体的に県に要望していきます。

市道大清水弥高春照
線の未整備区間

問 3年前に質問した時には、未整備箇所を迂回する形で暫定的に道路をつなぎ、平成7年度に工事をいったん完了し、以降25年間そのままの状態になっていると説明された。その後の経緯と今後の見通しは。

答 近年、用地に関する局面的変化があり、道路整備に向け準備を進めています。

未整備区間の北側にある変則交差点の交通安全対策等、地元自治会の協力を得ながら進めます。

今後予定している大清水地先の地籍調査事業を有効に活用しながら事業を進めていきます。

伊吹山麓から3合目
までの林道改良工事

問 進捗状況と今後の見通しは。

答 平成28年度から着手し、3年度末までに1合目から3合目までの工事を完了しましたが、山麓から1合目までの工事は4年度以降休止しています。残り7工区の改良工事を計画期間内に完了するのは厳しい状況です。

伊吹山は、7月に南斜面の大規模な土砂流出が発生し、現在、県との合同プロジェクトチームで中長期的な復旧対策に取り組んでいます。林道は復旧対策のための重要な道路と位置づけ、引き続き地元自治会との交渉を進めていきます。



山本 克巳 議員

- 水道水の軟水化にかかる経費負担
- 市立認定こども園の新たな保育体制
- 本市の子育て支援(育休継続制度)

水道水の軟水化はどこまで進んだのか

問 伊吹南部地域の硬度は、どの程度低減化できたのか。

答 硬度低減化前の水道水の硬度は130前後で、現在では、90前後となっています。硬度の改善については、約30%の低減ができています。

問 一部地域では、石灰質の水が給湯器等に不具合を発生させ、軟水器を設置しなければならぬ。また毎月、メンテナンス溶剤に3〜4千円の負担がかかるのは把握しているか。

答 軟水器に関しては、山東伊吹地域で約1240件設置されていることを把握しています。

問 軟水器や溶剤の購入については、一般会計から助成すべきでは

ないか。

答 現在のところは考えておりません。



値上がりした軟水器溶剤

市立認定こども園の新たな保育体制とは

問 なぜチーム担任制の保育とするのか。

答 近年の保育利用ニーズの変化とともに、本市では3歳児以上の短時部の園児数は減少し、3歳児以上の長時部の園児や、個別の支援を必要とする園児、午前7時からの早朝保

育や午後7時までの延長保育を利用する園児、さらには乳児の利用人数が増加しています。

一方、職員の勤務体制は、フルタイム・短時間・パートタイムと働き方は多様化しており、慢性的にフルタイムで勤務する職員が不足し、園児の安心・安全な保育の維持に苦慮しています。また、早朝や延長保育のシフトが増え、保育の準備、会議や休憩の時間を確保できなくなっており、職員の大きな負担となっています。

問 こうした現状を踏まえ、市立認定こども園において、長時部担任を廃止し、チーム担任制を導入する新たな保育体制の構築に向けて協議を進めています。

問 正規職員とそれ以外の職員について、仕

事の負担と賃金はどう変わるのか。

答 チーム担任制の主担任は、年間を通して責任者となりクラスを運営します。また、幼児担任は、主担任とともに担任としてクラス運営を行います。書類関係の事務作業はなく、14時の降園時の保護者対応や主担任不在時に代替の業務を行います。その他についてはこれまでと同じ業務内容です。主担任は、主に正規職員が担いますが、経験豊富な会計年度任用職員が担うこともあります。会計年度任用職員の給料等については、園内での役割や担当業務により職種を整理するとともに、できる限り業務内容に応じた金額となるよう設定していきます。

子育て支援(育休継続制度)について

問 多子世帯において産前産後期間の米原市の入園要件について、もう少し緩和すべきではないか。県内他市町ではいろいろな事例もあるが。

答 保育利用期間を拡大すると、2歳児を中心とした乳児の保育需要がさらに高まることから、保育人材を確保し、民間も含めた市内保育施設の受け入れ体制をととのえる必要があります。

7年度以降の保育所等の利用要件や利用期間の見直しに向け、保育人材を確保し、市内保育施設の受け入れ体制をととのえてまいります。



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○ステップ・フォワード・プログラムについて ○米原市開業医誘致等地域医療振興事業について



山口 久志 議員



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

ステップ・フォワード・プログラムについて

問 本年度から始まった、このプログラムの取り組み状況は。また前回の定例会で「画期的な取り組み」との答弁があったが、どのように画期的なのか。

答 本年度からスタートして当初の計画通りの運営ができています。

本プログラムが画期的であるとは自負している理由は、いわゆる校内フリースクールであることが挙げられます。

問 週に3回、2人のガイドウォーカーが交代勤務で支援を行っておられるが、伴走的支援とは具体的にどのようなことか、実績と併せて伺う。

答 伴走的支援では、生徒の気持ちを聴く事

により、何をしたいか、どんな風に過ごしたいかを一緒に考えながら過ごしています。実績としては、本人の希望で家庭の悩みを打ち明けてくれた生徒もいました。また、ボランティア活動や定期試験の前に学習支援を行うこともありました。

問 他市から受け入れたケースはあったか。

答 現在のところ、他市からの受け入れはありません。連携については学校、教育委員会、ステップ・フォワード・プログラムと「みのり」が常に情報交換を行っているようにしています。

問 開設後、見えてきた課題は何か。

答 本年度は、ガイドウォーカーの確保の都

合で、月曜日から水曜日の開設となっているので、次年度は月曜日

から金曜日までの開設となるよう検討します。

問 この事業を次年度以降どのように継続していくのか、将来の方向性は。

答 次年度は、ガイドウォーカーのうち1人をフルタイムで常駐させ、プログラムを利用したい生徒がいつでも来られるようにしていく予定です。また、参加対象について、希望があれば小学校の高学年も含めて柔軟に対応し、児童生徒間でのコミュニケーションの機

会を増やすことを考えています。

米原市開業医誘致等地域医療振興事業について

問 この事業に対して応募があったのか進捗状況はどうか。

答 補助制度開始から現在に至るまでの実績については、事業内容に関する具体的な相談が3件ありましたが、申請には至っていません。

問 市内の地域医療体制の格差についてどのような見解を示しているか。

答 どの地域にいても安心できる医療体制をととのえらるとともに、公共交通ネットワークなどさまざまな方法により、地域医療体制の格差解消に取り組んでいきます。

Step Forward Program

ステップ・フォワード・プログラム

一緒に一歩踏み出す場所

SF Space
(Step Forward Space)



Guide Walker
社会自立支援員

Guide Walkerの助けにより

- ・児童生徒が自分の未来への一歩を踏み出します。
- ・社会的自立に向け、友達と協働学習をします。
- ・生活エネルギーをためて社会貢献を経験します。

【その他の職務】

- ・不登校コーディネーターとの連携
- ・学級担任、学年との連携
- ・教室に入れない生徒の保護者との相談窓口
- ・教育支援センターや民間団体との情報共有

ステップ・フォワード・プログラム
※学校教育課作成資料より一部抜粋



鹿取 和幸 議員

- 三島池・オナゴ溜^{だめ}の自然保護・環境保全
- 伊吹山の保全
- 学校における環境教育・SDGsの取り組み

三島池・オナゴ溜^{だめ}の自然保護・環境保全

問 オナゴ溜^{だめ}の雑草の処理は。

答 ため池自体の所有者は地元自治会ですが、三島池の北側に位置しており、三島池の周辺環境の一部として、市や地元自治会、県などで構成する「美しい三島池周辺環境づくり協



オナゴ溜^{だめ}の様子(令和5年12月撮影)

会(以下、協議会)で問題や課題を共有しながら、維持管理に取り組んでいます。ヨシなどの繁茂状況は、協議会で共有していますが、ため池、自然環境、観光資源などさまざまな側面があります。また地元自治会でも、今後の在り方について、さまざまな方向性の意見があると聞いています。

ヨシなどの対応は、今後、同ため池をどうしていくのかという問題と併せて検討していく必要があります。協議会、地元自治会の意見なども聞きながら、関係者が連携して取り組んでいきたいと考えています。

伊吹山の保全

問 どのような計画や事業を予定しているのか。

答 ニホンジカの捕獲、土砂流出を防ぐための植生回復、登山道の修繕、砂防堰堤^{えんてい}の整備を予定しています。

現在は、ニホンジカの捕獲と共に緑化の試験施工や獣害柵の金属柵化など、着手できるところから進めています。目標達成までのロードマップや全体像は、試験施工や各種調査結果を踏まえて来年度に策定予定です。

なお、今後も伊吹山の現状や整備状況などは、積極的に情報発信します。

学校教育における環境教育・SDGsの取り組みについて

問 各小中学校でのSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みは。

答 学校教育活動全体を通して、主に次の4点の取り組みを行っています。

1点目は、教科学習の中での取り組みです。国語科や社会科、総合的な学習の時間などでSDGsをテーマに取り上げています。調べ学習をしたり、地域の企業の出前講座を活用し、自分たちにできることを考えて話し合い、まとめた内容を学年や全校に向け、発表や掲示を行ったりしています。

2点目は、学校行事の中での取り組みです。小学校では、滋賀県独自の環境教育である、湖の子、山の子、田んぼの子の実践はもとより、環境問題に取り

組む企業で校外学習を行ったり、ジェンダーレスについてゲストの話を聞いたりするなど、SDGsの考え方を積極的に取り入れています。

3点目は、学校と地域が一体となって行っている取り組みです。地域の人と一緒に花や野菜を育てたり、間伐体験を行ったり、学校と地域が一体となって防災訓練を行ったりしています。

4点目は、児童会や生徒会活動として行っている取り組みです。児童会や生徒会が中心となってアルミ缶やペットボトルのキャップ回収を行ったり、給食委員会がフードロス削減のために残食を減らす呼びかけを行ったりしています。



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○介護保険第9期事業計画の内容と改善策を問う ○市の就学援助に用いる認定基準を問う



山脇 正孝 議員

高すぎる介護保険料
等の改善を

問 介護保険は、高齢者の支払い能力を超える保険料や利用者負担になっているがどうか。

答 第1段階から第3段階の低所得者層の軽減については、公費により賄っています。また利用者負担については、利用料が一定額を超えた場合は、高額介護サービス等の適用により負担軽減が図られる。

問 介護保険は、高齢者の支払い能力を超える保険料や利用者負担になっているがどうか。

問 第8期の準備基金は、段階的に取り崩され、減少するのが通常だが、市の基金が、期間の最終年度に積み増しされている理由は何か。

答 第8期の保険料の設定については、3年度から5年度までの3力年の第1号被保険者数、要介護認定者の推計、サービスの利用見込みを勘案して設定を行いました。結果的に認定率の上昇の予測の伸び等を勘案して保険料を算定したことに

問 第1段階から第3段階の低所得者軽減で、標準料率をどれだけ引き下げるつもりか。

答 第9期介護保険事業計画における保険料については、国から介護報酬改定が示されていないため、明確に答えすることはできませんが、低所得者の保険料上昇を抑制する観点から、第1段階から第3段階の低所得者層について、さらに標準料率を引き下げる仕組みを検討しています。

市の就学援助の
認定基準は

問 就学援助の所得認定で、生活保護基準削減の影響を受けない措置をとったか否かを調べる文部科学省調査で、米原市は回答を公表していないが、その理由は何か。

答 就学援助の認定は、規則で所得金額の基準を定め審査しています。この基準は、厚生労働省が定める生活保護の基準ではなく、文部科学省が示す特別支援教育就学奨励費の保護基準額で算定しています。

これらの基準額は、以前は同額でしたが、生活保護基準額は見直しがされたものの、文部科学省の基準額は改定されていないことから、結果的に平成24年以降同じ基準額で運用しています。このため平成30年の生活保護基準の引き下げによる認定の影響は受けておらず、本市では、生活保護の基準より手厚い認定基準となっています。この基準は、市公式ウェブサイトに掲載し公表しています。

米原市介護保険料の推移

くらし支援部 高齢福祉課提供

事業期間	基本月額保険料	890円の値上げ!	年額保険料
第8期(R3~R5)	6790円		81480円
第7期(H30~R2)	5900円		70800円
第6期(H27~H29)	5900円		70800円
第5期(H24~H26)	5108円	1.8倍	61296円
第4期(H21~H23)	4190円	2.5倍	50280円
第3期(H18~H20)	3850円		46200円
第2期(H15~H17)	2985円 (4町平均)		
第1期(H12~H14)	2708円 (4町平均)		



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



藤田 正雄 議員

○来年秋からマイナンバーカードを健康保険証とすることについての市の対応を問う

○米原市の子育て支援の状況と

山東幼稚園の閉園後の利活用について問う

マイナ保険証の問題と対応

問 本市のマイナンバーカードの現状は。

答 カード取得率は、令和5年10月末現在、全国では72・7%、滋賀県は74・6%、本市は82・7%です。本市の国保のマイナ保険証数は、令和5年10月16日現在で5千人であり、全被保険者の74%です。後期高齢者のマイナ保険証数は、4436人であり、全被保険者の68・7%です。

問 マイナンバーカードの総点検結果は。

答 本市の事務における紐付け誤りは確認されませんでした。

問 市内の医療機関でのマイナ保険証での受診状況は。

答 国で把握している情報のみで10月のマイ

ナ保険証利用割合は全体で4・49%です。

問 来年秋からの紙の保険証廃止方針は変わらないのか。

答 国は、令和6年12月8日までの間に廃止で進めるとされています。システム改修は、6年度当初予算に計上できるように進めています。

問 国保証は毎年7月31日を有効期限としている。経過措置は。

答 6年度は、例年どおり8月1日に令和7年7月31日までを有効期間とする被保険者証を交付予定です。

問 マイナンバーカードを持たない人への対応は。

答 マイナ保険証を持たない人は、「資格確認書」を提示すれば、一定の窓口負担で医療を受けることができる予

定です。また、オンライン資格確認のできない医療機関での対応として、「資格情報のお知らせ」の送付を行う予定です。

子育て支援の状況は

問 子育て支援の現状の認識は。

答 令和2年に策定した第2期米原市子ども・子育て支援事業計画の目標として、五つの基本目標を掲げています。子育てに対する不安の解消や経済的負担の軽減をはじめ、子育てに関するサービスの充実など、子育て世帯のニーズに沿った多面的で複合的な支援が重要であると認識しています。さらなる子育て支援策の充実を図っていきます。

問 包括支援センターや地域子育て支援セン

ターの体制は十分か。

答 ルッチプラザ内の子育て世代包括支援センターは、保健師と保育士の2人の専門員が相談にのっています。

地域子育て支援センターは、平日に市内4カ所で未就園児の遊び場の提供と子育てに関する相談をお受けしています。12月から土曜日に公立認定こども園で園開放を行う予定です。

問 山東幼稚園の閉園後の利活用は。

答 令和7年3月に閉園する山東幼稚園の跡地は、隣接する天狗の丘公園を含め、子育て環境の充実に資する施設として再整備する方向で検討を進めると、昨年度、説明しました。地理的条件や、豊かな自然環境を最大限生かしながら、未来を担う子どもたちが集う場として、また、平和の尊さを再確認する場として再生するという、この考え方を堅持していきます。



令和7年3月に閉園される山東幼稚園



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○近江鉄道再生協議会に対する疑問について



礒谷 晃 議員



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

近江鉄道米原駅の利用者

問 近江鉄道米原駅の通勤や通学による米原市民の利用はあるか。

答 定期購入者は、通勤26人、通学は、12人の合計38人で、うち近江鉄道米原駅からの乗車は5人です。この5人は、米原駅からスクリーン駅までが2人、彦根駅までが1人、八日市駅までが1人、八日市駅までが1人です。なお、通学者の米原駅利用はありません。

JR琵琶湖線経由と近江鉄道との定期代比較

問 米原市民が近江鉄道のフジテック前駅、鳥居本駅を利用されない中で、米原市内区間の存続の必要性を感じない。

では、定期券の料金はどうか。近江鉄道米原駅から八日市駅までとスクリーン駅まで、JR琵琶湖線彦根駅経由と直通料金、それぞれの額は。

答 米原駅から八日市駅までの近江鉄道1カ月の通勤定期代は、3万4380円で、JR琵琶湖線彦根駅経由は、3万6150円です。さらにJR琵琶湖線の近江八幡駅を経由は、3万3680円です。次に、定期利用があるスクリーン駅までの近江鉄道1カ月の通勤定期代は、1万8670円で、JR琵琶湖線彦根駅を経由は、1万5790円です。

近江鉄道線軌道の状況

問 120年以上経過したトンネルや鉄橋を

心配している。向こう10年の負担金、米原市分1億8千万円の中に、トンネルや鉄橋の抜本的改良工事の予定は。

答 軌道の大きな改良工事としてレール交換と、木製枕木を3本に1本の割合で、高強度鋼材を用いたコンクリート製枕木に交換する工事を予定されています。

レール交換は、今後30年間で全線切り替える予定で、本年3月末時点で全線59・5％、16・2％の約27・2％が改良済みです。

また、枕木交換は、12年度までに完了予定とされ、本年3月末時点で44・1％の約74・1％が改良済みです。

上下分離方式からほとんど丸抱え方式への移行

問 近江鉄道（株）は、列車運行とその電力代、運行営業に係る人件費などしか負担しない。電車、駅舎、軌道の保守整備などは国、県、沿線市町（5市5町）で負担する計画だが、これは、ほとんど丸抱え方式ではないのか。

答 近江鉄道全線の存続は、県と沿線市町で構成する一般社団法人近江鉄道線管理機構が、第3種鉄道事業者として軌道、駅舎等の構造物および車両の無償譲渡を受け保有管理します。

近江鉄道は、第2種鉄道事業者として鉄道運行を担うほか、管理機構から鉄道施設や車両の保守点検業務を受託します。

このように運行と所有を分ける公有民営方式による上下分離で存続させていくこととしています。

負担金を支払う旨の約定について

問 負担金を支払う旨の約定を交わしたのか。

答 近江鉄道線管理機構へ支払う旨の明確な約定は交わしていません。

第二種事業者（鉄道事業者）

運行

○運行や乗務員、車両（※）等

※車両は第三種事業者が保有する場合もある

運行に専念

上下分離方式とはいいいながらも、ほとんど県と沿線市町の「丸抱え方式」
※近江鉄道沿線地域交通再生協議会資料から一部抜粋



振角 大祐 議員

○授業以外での児童・生徒への学力補充 ○ステップ・フォワード・プログラム(SFP)

授業以外での児童・生徒の学力補充

問 『学びっこ』の概要と参加者数は。

答 小学校3年生を対象に、放課後学力保障教室を開設し、学力の定着、学力の2極化の解消と併せて、生活困窮家庭やひとり親家庭等、要支援家庭児童を中心に家庭学習の定着等も目的としています。利用人数は、2年度は、182人、3年度は、175人、4年度は、169人でした。

問 『地域未来塾』の概要と参加者数は。

答 地域学校協働活動推進事業の一環で、主に中学生を対象に、大學生や教員OBなど幅広い地域住民の協力により学習支援を行っています。利用人数は、2年度

は、100人、3年度は、94人、4年度は、147人でした。

問 『コミュニティ・スクール』での学習支援の概要と参加者数は。

答 主に小学生を対象に、授業支援の形で実施しており、授業以外の学力補充は、ほとんど行っていない。本年度は、柏原小学校で夏季休業中に学力保障教室を実施し、児童34人が参加しました。

問 『ほたるーむ』の概要と参加者数は。

答 生活困窮世帯やひとり親家庭等の子どもを対象に支援を行う事業です。参加者数は、2年度は実利用者7人で延べ利用者136人、3年度は実利用者18人で延べ利用者336人、4年度は実利用者12人で延べ利用者183人で

した。
問 小学校における学力補充を積極的に行えないか。

答 各小学校の全ての授業で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を効果的に取り入れ、全ての児童の学びを充実させるよう取り組んでいくことが重要です。

さまざまな学力保障の取り組みを無理のない形で継続し、必要とする児童生徒の学びの向上に取り組んでいきます。

問 情報共有は。

答 学力保障に関わる支援員は、学校と特段の情報共有は行っていない。ただし、学習支援の中で気になったことがあれば、教職員に情報提供されます。学校が必要と判断した場合は、スクールソー

シャルワーカー等に情報提供されます。



ステップ・フォワード・プログラム(SFP)

問 スタッフの確保は。

答 開設当初は、フルタイム勤務のガイドウオーカーに支援をお願いする予定でしたが、全国的な教員不足の状況を受け、教員免許を所有する候補者が見つからず、パートタイムで教員免許を所有する

2人を任用することになりました。

問 SFPから見える学校教育の課題は。

答 本プログラムに参加する生徒を見てみると、小集団や一人で行うことを好む傾向があります。学校では、大きな集団で生活や学習をするのが当たり前になっているのですが、その集団の中には本プログラムに参加する生徒と同じような児童生徒がいるということを、再認識し教育にあたるのが大切です。



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

○空き家等の問題・課題等について



鏑田 明 議員

空き家等の問題・課題等について

問 過去3年間の件数の推移について。

答 地区別空き家数は、次のとおり。

地 域	2年度	3年度	4年度
山東地域	359 件	346 件	356 件
伊吹地域	229 件	230 件	221 件
米原地域	356 件	351 件	347 件
近江地域	236 件	243 件	254 件
総 数	1180 件	1170 件	1178 件

2年度から4年度にかけて空き家の総数は、ほぼ横ばいですが、新たな空き家が297件発生している一方、299件の空き家が活用や除却、売買により減少しています。

空家バンク事業による有効活用や、管理不全な空き家への指導、除却への支援等により効果が表れているものと考えています。

問 空家バンクの過去3年間の実績は。

答 2年度は、新規登録物件数50件、新規利用希望者登録数85件、年間成約物件数19件です。3年度は、新規登録物件数39件、新規利用希望者登録数は104件、年間成約物件数は26件です。4年度は、新規登録物件数25件、新規利用希望者登録数は100件、年間成約

物件数は24件で、今年の9月末現在の空き家登録物件数は78件、利用希望者登録数は273件です。2年度から4年度にかけ114件の空き家が新たにバンクに登録され、69件の空き家が活用されました。

問 空家バンクの今後の活動について。

答 空家バンクへの登録物件が不足する中、空き家所有者等に対する空家バンクへ登録していただくための働きかけが喫緊の課題と認識しています。今後は、啓発をさらに強化し、ニーズに対応した新たな支援制度創設の検討や空家バンクと民間事業者との連携を進め、推進体制の見直し、および強化を図ってまいります。



特定空家における
行政代執行の様子



問 特定空家に「しなない、させない」ための具体的な対策について。

答 空家バンクサポートは現在29人の登録をいただいています。活動は、空き家所有者に対する有効活用や適正管理に向けての情報の発信や空き家所有者および移住希望者からの相談等に対する協力や助言をしていただいています。

問 空き家等の苦情は。

答 空き家の一部損壊、八子の巣、草木繁茂等です。市は現地を確認し、所有者に対して空き家の改善方法や支援策等を助言しています。進展がない場合は、現地確認を行い粘り強く指導を続けています。



録画配信
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

議会の動き

10月

- 2日 議会運営委員会、米原駅東口駅前開発特別委員会
 3日 第3回定例会【最終日】、議員全員協議会
 5日 会派代表者会議
 10・11日 健康福祉教育常任委員会 行政視察
 13日 議会だより編集委員会
 17日 行政視察受入(福岡県飯塚市)
 18日 議会だより編集委員会正副委員長会議
 2常任委員会協議会
 24日 長浜・米原市議会連絡協議会
 26日 会派代表者会議、議会運営委員会
 29日 市総合防災訓練
 30・31日 議長要望活動

11月

- 6日 行政視察受入(福島県本宮市)
 9日 第3回臨時会、議員全員協議会
 15日 2常任委員会協議会
 16日 行政視察受入(三重県伊賀市)
 17日 議会運営委員会
 21日 湖北地域消防組合議会 議会運営委員会
 米原駅東口駅前開発特別委員会
 県市議会議長会第2回議長会議
 22日 議員全員協議会
 27日 議会運営委員会
 30日 第4回定例会【初日】、議員全員協議会
 予算・決算常任委員会、議会だより編集委員会

12月

- 1日 湖北地域消防組合議会 臨時会
 5日 第4回定例会【2日目】一般質問、議員全員協議会
 6日 第4回定例会【3日目】一般質問
 7日 民生教育常任委員会、予算・決算常任委員会民生教育分科会
 8日 民生教育常任委員会、予算・決算常任委員会民生教育分科会
 12日 総務産業建設常任委員会、予算・決算常任委員会総務産業建設分科会
 13日 総務産業建設常任委員会、予算・決算常任委員会総務産業建設分科会
 20日 予算・決算常任委員会(全体会)
 21日 議会運営委員会
 22日 第4回定例会【閉会日】、議員全員協議会
 米原駅東口駅前開発特別委員会
 25日 湖北広域行政事務センター議会 臨時会
 26日 長浜水道企業団議会 臨時会

次回 令和6年第1回(3月) 定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
【開会予定時刻】 開会日：10:00、一般質問・委員会：9:30、 閉会日：10:15 ※日程・時間は、変更の場合有				2/22 開会日	2/23	2/ 24
2/ 25	2/26 代表質問	2/27 一般質問	2/28 一般質問	2/29 予算決算委員会	3/1 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	2
3	4 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	5 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	6 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	7 総務産業建設 委員会・予算 決算分科会	8 民生教育委 員会・予算 決算分科会	9
10	11 民生教育委 員会・予算 決算分科会	12 民生教育委 員会・予算 決算分科会	13 民生教育委 員会・予算 決算分科会	14	15	16
17	18	19	20	21 予算決算委員会 議会運営委員会	22 閉会日	

議会の傍聴

傍聴を希望される方は、当日に米原市役所
本庁舎5階・議会事務局へお越しください。

本会議の中継

開会日、代表・一般質問、閉会日の本会議の
模様を伊吹山テレビでご覧いただけます。

本会議の録画配信

本会議の模様を録画配信しています。
<http://www.kensakusystem.jp/maibara-vod/>



委員長 山口 久志
 副委員長 振角 大祐
 委員 鹿取 和幸
 委員 細野 正行
 委員 山脇 正孝
 委員 吉田 周一郎



議会だより編集委員会

編集後記

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。まず、はじめに令和6年能登半島地震により亡くなられた皆さまに深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年は14年ぶりにワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本が優勝しました。また阪神タイガースが38年ぶりに日本一になるなど、野球を通じて、野球ファンのみならず多くの人々が興奮と歓喜の渦に包まれたと思います。そして今年は、フランスのパリでオリンピックが開催されます。たくさんの方々の勇気と感動を世界に届けてくれることを願っています。

SNS(交流サイト)の普及に伴い、世の中の暗いニュースに触れる事が多くなった昨今、スポーツがもたらしてくれるプラスの力は本当に素晴らしいものだと感じます。さらには来年には滋賀県で「国スポ・障スポ大会」が開催されます。「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンをもとに感動を紡ぎ、希望の灯となつて欲しいと思います。
 (山口久志)

米原駅東口

駅前開発特別委員会

米原駅東口周辺まちづくり事業の推進に向けて
奨励措置により、民間事業者の立地を促進

11月21日に米原駅東口周辺まちづくり事業者の公募に先立ち、サウンディング調査の結果説明、公募概要などについて審議しました。また、12月22日、本会議終了後には、米原駅東口事業者立地促進条例案について、米原駅東口周辺まちづくり事業への進出を促すため、立地促進奨励金などの進出事業者へのインセンティブを設けることなどが説明されました。

委員からは、県の優遇制度の有無や条例の適用期限や人数制限などについて、質問が相次ぎました。

年月	東口まちづくり事業に関する出来事
2007.3	米原駅東口周辺まちづくりビジョン策定
2015.4	シティマネージャーを登用
2015.12	米原駅東口周辺まちづくりプロジェクト構想（隈研吾氏等提案）を公表
2018.3	（株）みずほ銀行との連携協定を締結
2018.4	（一社）米原駅東口まちづくり協議会の設立
2019.3	米原駅東口周辺まちづくりプロジェクト基本計画を発表
2019.9	米原駅東口まちづくりプロジェクト基本設計を発表
2022.3	シティマネージャー退任
2022.6	（一社）米原駅東口まちづくり協議会を市脱退
2022.6	県立高等専門学校候補地として提案
2022.9	県立高等専門学校候補地から落選
2023.7	サウンディング型市場調査
2023.12	公募型プロポーザル募集要項公表

議会要望活動

米原市を取り巻く厳しい現状を伝える
地域経済、市民の暮らしを守るため、特段の措置を要請

10月30・31日に今中議長(当時)ほか議員数人が上京し、市内の道路整備、農業に関する経営体育成基盤整備、伊吹山の災害復旧や学校施設整備など、多岐に渡る要望活動を行いました。

議長からは、市道における防災・安全対策の必要性、市内農業をとりまく厳しい状況、子どもたちの育ちを支える学校教育の環境づくりの重要性、伊吹山の環境の現状など、詳細に説明を行い、予算措置や支援について特段の配慮を要請しました。



農林水産副大臣への要望の様子